

平成29年度 「第10回 言語聴覚の日」 イベント報告

ヴァンフォーレ甲府のホームゲームで 活動を広報

山梨
YAMANASHI

● 一般社団法人 山梨県言語聴覚士会

広報局 高橋 正和



参加スタッフとVFクィーンの皆さん

山梨県言語聴覚士会では8月27日(日)、山梨中銀スタジアム(甲府市小瀬スポーツ公園内)で行われた、明治安田生命J1リーグ 第24節 ヴァンフォーレ甲府vs川崎フロンターレ戦にて、「言語聴覚の日」PRイベントを開催しました。「山梨だから出来ること」をテーマにイベントを企画いたしました。県民に愛され、広く親しまれているヴァンフォーレ甲府のホームゲームで、PRイベントを開催したいと熱望し、ヴァンフォーレ甲府の海野会長から快諾をいただき、イベントを実現する運びとなりました。

試合の観客動員数は1万人以上となり、当士会の特設ブースにも多くの方が立ちよってくださいました。ポスター展示やパンフレット配布が中心でしたが、家族の相談や学生の進路相談などもあり、ブース来場者は途絶えることがなく、大いに賑わいました。また、スタジアム



(上)トラックエリアの周回



(右)スタジアム大型ビジョン告知



入場者には、言語聴覚士の仕事をまとめたチラシ6,000枚、県士会ロゴ入りの限定うちわ600本を配布しました。

日中は30度を超える真夏日で、試合開始18時頃でもスタジアムは蒸し暑く、当日配布したうちわは観客からも好評でした。スタジアム内で行った横断幕告知や大型ビジョンCM告知は、スタジアム来場者からの注目も高く、観戦者からも印象に残ったと感想をいただきました。スタジアム大型ビジョンに私たちのCM告知が流れた時には、このイベントまでの道のりを思い感無量となりました。今回のイベントを通じて、地域の方々に対し私たちの活動を広報できる良い機会になったと感じています。

今後もより多くの方々に言語聴覚士を知ってもらい、理解を深めていけるような活動を行っていきたいと思います。



配布したチラシとうちわ